

週間漁海況情報 2024年第2号

令和6年1月9日発行

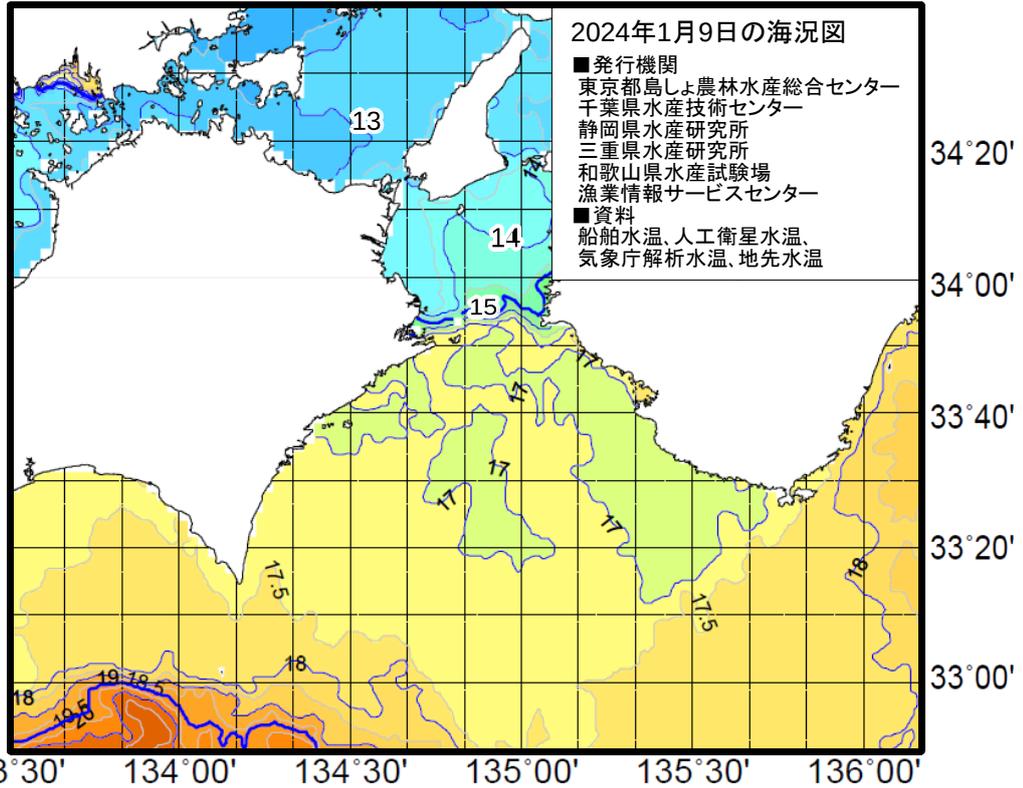
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖41マイル付近、潮岬沖107マイル付近を流れ、室戸で「やや離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。室戸岬と潮岬の間には時計回りの渦があり、室戸岬へ暖水波及が見られ、内海水は紀伊半島沿いに南下している。今後、黒潮は室戸岬に近づく予測されている。

黒潮の表面水温は21~22℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は12~13℃、紀伊水道は13~17℃、海部沿岸は16~17℃台となっている。

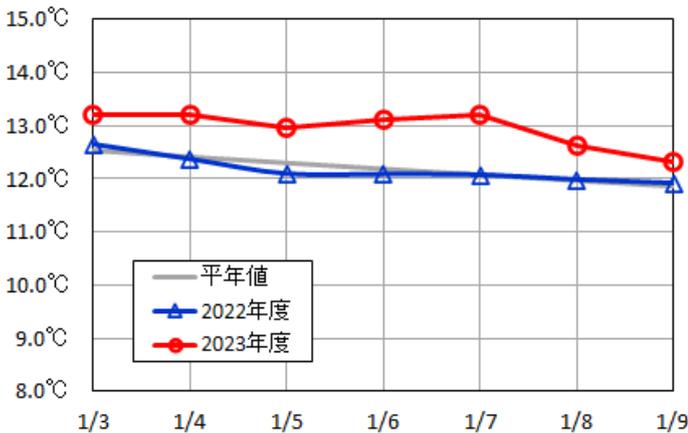


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

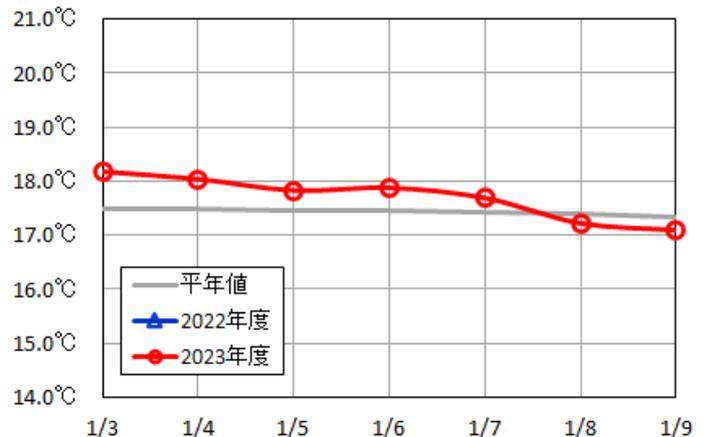
2. 地先水温(1月3日~1月9日)

鳴門地区の水温は、12.3~13.2℃で「やや高め」から「平年並み」、浅川地区は、17.0~18.1℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は4.4~4.9℃で、先週とほぼ同じであった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(1月10日~1月16日)

黒潮は、室戸岬沖は「やや離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」して推移する見込み。
地先水温は、鳴門地区、浅川地区ともに、「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (1月1日～1月7日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが大きく減って1.5ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく減って特大主体に0.8ト、カワハギが大主体に0.8ト、メジナが大きく増えて0.5ト、すずき類が大きく減って大主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、えそ類が増えて0.7ト、コウイカが増えて大主体に0.6ト、クマエビが減って0.3ト、シロサバフグが増えて0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

小型定置網では、メジナが大きく増えて1ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが大きく増えて1.3ト、マルアジが大きく増えて小小主体に1.1ト、キハダが大きく増えて0.8ト、マサバが大きく減って小主体に0.7ト、メアジが0.6ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.25トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	19	シラス	1,539	81		↘↘
	小型定置網	16	マアジ	848	53	特大主体	↘↘
		16	カワハギ	778	49	大主体	→
		13	メジナ	500	38		↗↗
		9	すずき類	272	30	大主体	↘↘
		21	えそ類	729	35		↗
	底びき網	21	コウイカ	567	27	大主体	↗
		18	クマエビ	289	16		↘
		13	シロサバフグ	271	21		↗
		5	メジナ	974	195		↗↗
海部沿岸	小型定置網	1	マアジ	1,334	1,334		↗↗
	大型定置網	1	マルアジ	1,117	1,117	小小主体	↗↗
		1	キハダ	839	839		↗↗
		1	マサバ	694	694	小主体	↘↘
		1	メアジ	578	578		→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘